吉本新喜劇のヤンシー&マリコンスがすきなんですけど、分ですね？

元祖 モリモリ書店

令和２年度　愛知教育大学附属岡崎中学校　読書だより

第34話　R02.08.25(火)
『つらいと感じたときに少し違う見方をしてみる。』

★今回、紹介する本は、『**苦しい時は電話して**』（著/**坂口恭平**、出版/講談社現代新書）です。

歌もとってもすてきです。茂木さんもほめてます。

建築家であり、**作家**であるとともに、**絵**を描いたり（表紙絵も本人）、**歌**もうたう（声がとてもすてき）、坂口さんがまっすぐに語りかけてくれる本。

表紙にある携帯電話の番号は、坂口さん本人のものです。この番号は、「**いのっちの電話**」と呼ばれ、生きるのがつらい人と話をするために、坂口さんが公表しているものです（表紙に載せるところがすごい…）。

この本には、「いのっちの電話」のことが書かれてはいますが、それだけでなく、少しでも、「今つらいな」「もやもやするな」と思ったときに、「**どのような切り抜け方（ものの見方）ができるか**」を教えてくれる内容にもなっています。アーティストである坂口さん独特の語り口に好き嫌いはでるかもですが、**「自分との向き合い方」、そして、「世界との向き合い方」を考えられる**本です。

『苦しむことができる力は、ここにないものを生み出す時には、逆にとても大きな力になります。』（p.154）

『体を使って変えられることだけを変えればいいんです。』（p.198）